

第35回エアロゾル科学・技術研究討論会

講演募集および参加募集のお知らせ

●日時：2018年7月31日(火)～8月2日(木)

●会場：名古屋大学・シンポジオン（愛知県名古屋市千種区不老町）

主催：日本エアロゾル学会

第35回エアロゾル科学・技術研究討論会を2018年7月31日(火)～8月2日(木)の3日間、名古屋市千種区にある名古屋大学東山キャンパスにて開催します。エアロゾル研究に携わる研究者・技術者の交流や情報交換の場として有意義な討論会にするため、多くの方の発表・ご参加をお待ちしております。討論会では、例年のおり一般講演(口頭発表・ポスター)、シンポジウム、特別セッション(井伊谷賞)を開催します。例年と異なり、第22回エアロゾル基礎講座討論会を参加・体験型として最終日(8月2日(木))に開催します。また、2014年の討論会より実施しております研究討論会論文特集号として、「エアロゾル研究」34巻1号(2019年3月発行)以降での掲載を企画しております。また、講演要旨集の電子化(当日にUSB配布)についても継続して実施します。なお、討論会プログラムと基礎講座の詳細は、学会ホームページ(<http://www.jaast.jp/home-j.shtml>)と討論会ホームページ(jaast35nuで検索もしくは、<http://sites.google.com/site/jaast35nu/home>)にて随時更新予定ですので、そちらをご覧ください。

【開催日時】 7月31日(火)～8月2日(木)

【会場】 名古屋大学・シンポジオン 東山キャンパス D3⑤

(<http://www.nagoya-u.ac.jp/access-map/index.html>)

・公共交通機関： 地下鉄・名城線「名古屋大学駅」2番出口から徒歩3分

・自家用車での来学はご遠慮下さい

【宿泊】 名古屋市内(栄、伏見、JR名古屋駅、金山など)のホテルをご利用ください。

【日程概要】

	シンポジオン・豊田講堂会議室	ホワイエなど
7月31日(火)	一般講演(口頭発表・ポスター発表・若手ポスター発表)、シンポジウム	機器・カタログ展示
	若手討論会	
8月1日(水)	一般講演(口頭発表)・シンポジウム 特別講演・総会・特別セッション メーカープレゼンテーション	機器・カタログ展示
	懇親会	
8月2日(木)	一般講演(口頭発表)、シンポジウム	機器・カタログ展示
	公開市民講座	基礎講座

シンポジウムテーマ(オーガナイザー)趣旨

A1「エアロゾルと健康影響との関連を探る」(高見昭憲, 奥田知明, 山神真紀子, 長田和雄) 黄砂や花粉、PM_{2.5}、ナノ材料などのエアロゾル粒子が及ぼす健康影響について知るためには、幅広い観測データが必要である。その一方で、エアロゾルの観測結果と健康影響とを結びつけることは、必ずしも容易でない。本シンポジウムでは、健康影響の評価事例を交えて、影響評価に資する野外・室内、ナノから粗大粒子まで幅広い観測事例を紹介し、健康影響との関連を探るにあたっての課題と今後の展望を考える機会としたい。

A2「ナノ粒子の生成とその応用」(岡田芳樹, 木下卓也, 小原ひとみ) 本シンポジウムでは、エアロゾルプロセスまたはそこから派生したプロセスによるナノ粒子の合成技術から、各種の工業製品の製造現場でのナノ粒子(室内エアロゾル)の生成まで幅広い議論を行う。ナノ粒子の生成制御やそれを応用・活用する技術について、材料合成や室内エアロゾル研究を行う研究者間で相互に情報や知識を共有できる機会としたい。

A3「小型エアロゾル計測器の開発と応用：ビッグデータ・IoT時代に向けて」(松見 豊, 中山智喜) 最近、ビッグデータ・人工知能(AI)・IoT(Internet of Things)などが様々なところで話題になっているが、より良く便利で安全な社会と生活の実現のために、環境の分野でも、これらが重要・不可欠になるであろう。データの元となる小型環境計測器の開発と応用について、更には未来社会の環境技術のアイデア・夢物語を含めて皆さんと語り合う場にしたい。

【現地実行委員会】 実行委員長 長田和雄(名古屋大学); 実行委員 柴田 隆, 持田陸宏, 須藤健吾, 松見 豊(名古屋大学), 中山智喜(長崎大学), 山神真紀子, 池盛文教, 久恒邦裕(名古屋市環境科学調査センター), 竹川秀人(豊田中央研究所), 濱 尚矢(東京ダイレック株式会社)

【本部実行委員会】 矢吹正教(京都大学), 高見昭憲(国立環境研究所), 奥田知明(慶應義塾大学), 岡田芳樹(関西大学)

講演申込方法

【講演申込締切：2018年4月25日（水） 講演要旨締切：2018年5月31日（木）】

講演申込は、学会ホームページ(<http://www.jaast.jp/home-j.shtml>)の講演申込フォームへの必要事項入力を原則とします。この申込が困難な場合に限り、ページ下端に示す問い合わせ先への電子メールによる申込を受け付けます。

重要！：講演申込の期限延長は行いません。4月26日午前0時で入力は不可となりますので、ご注意ください。

【発表資格】 口頭発表での登壇者、ポスター発表者は本学会会員に限ります（依頼講演を除く）。

1. 講演応募分野（該当項目を選択、複数可）

- A1 シンポジウム「エアロゾルと健康影響との関連を探る」
- A2 シンポジウム「ナノ粒子の生成とその応用」
- A3 シンポジウム「小型エアロゾル計測器の開発と応用：ビッグデータ・IoT時代に向けて」

B. 一般研究発表：

- 1) 生成と性状（燃焼を含む）、2) 測定、3) 動力学と沈着現象、4) エアフィルタと集塵、5) 大気エアロゾル、6) 生体影響、7) 室内エアロゾル、8) クリーンルーム、9) エアロゾルの利用、10) その他

C. 特別セッション

2. 講演内容の分類（該当項目を選択）

- A. 未発表の研究、B. 既往研究のまとめ
- C. 既発表の研究

3. 発表形式（該当項目を選択）

都合により変更をお願いする場合があります。

- A. 口頭発表、B. 一般ポスター発表
- C. AとBどちらでも良い、
- D. 特別セッション(井伊谷賞)、
- E. 若手ポスター発表
(ベストポスター賞 選考対象)

4. 原稿種別

- A. 通常原稿、
- B. 学会誌論文特集号投稿原稿

5. 講演題目

6. 発表者の所属・氏名（講演者には○印）

7. 講演概要（100字以内）

8. 英文題目

9. 発表者の英文所属・氏名

10. 連絡担当者の氏名・連絡先

（所属機関、郵便番号、住所、電話番号、e-mail アドレス）

11. 講演者の会員番号

＜講演要旨原稿の作成要領＞

右に示す執筆要領に従ってください。

- ・通常の講演要旨(通常原稿)は2枚以内です。
- ・学会誌論文特集号の投稿要項については次ページを参照して下さい。
- ・要旨集は電子媒体で配布しますので、図はカラー可です。

＜講演要旨原稿の提出＞

講演要旨は pdf ファイルで

kosada@nagoya-u.jp へお送りください。

通常原稿、学会誌論文特集号投稿原稿ともに

5月31日締切 厳守です。

＜講演要旨原稿執筆要項＞

(A4 判用紙)

20mm

20mm

(印字範囲)

和文題目 ←なるべく中央へ

Title

(所属名) ○氏名*

(連名の場合は講演者に○印、*印は脚注の英文と対応させる)

Abstract (200words)

はじめに (もしくは Introduction)

講演要旨原稿執筆要項

1. 日本語または英語のいずれかで、A4 判白紙に印字して下さい。枚数は、図表も含めて **2枚以内** とします。ただし、「学会誌論文特集号投稿原稿」につきましては **2枚以上6枚以内** とします。講演番号とページを後から入力しますので、原稿には上下左右 20 mm ずつ必ず余白を取ってください。
2. 和文原稿、英文原稿いずれの場合も1ページ目はこの様式に従って下さい。
3. タイトルは本文よりも**大きい文字**で、できるだけ中央に、研究者氏名は「(所属) 氏名」の順に右側に寄せて書く。発表者には○印を付ける。下欄に英文で氏名、所属、住所を記入して、和文の発表者名と*印と対応させる。
4. 原稿1ページに対し、**文字サイズ10ポイントで24字×49行×2段を基準としますが**、多少変動しても構いません。
5. 和文原稿の場合も、Abstract、図・表・写真の説明、記号表、文献は英語で書いて下さい。Fig.1、Table 1、Photo 1、Nomenclature、References などとします。
6. 討論会ウェブサイト「見本」を置きますので参考にして下さい。

* 英文で氏名、所属、所在地を載せる。（* 和文の発表者名と対応）

** (2ページ目は1行目から書き出す。当欄はなし)

20mm

【講演申込および講演要旨に関する問合せ先】

第35回エアロゾル科学・技術研究討論会実行委員長 長田 和雄 E-mail: kosada@nagoya-u.jp

研究討論会と「エアロゾル研究－研究討論会論文特集号－」との連携企画について

研究討論会での発表内容は質が高いにも関わらず、その成果が学会誌である「エアロゾル研究」の掲載へと繋がっておりません。「エアロゾル研究」を研究交流の場として再度捉え直し、原著論文を増やすことで研究のアイデアや共同研究の種を沢山蒔いていくことが必要だと考えております。業績を上げるために上手くまとめた論文ではなく、研究討論会の発表で止まっているが、オリジナリティーがあり、広く情報共有したほうが良い研究が沢山あると思われれます。2014年の研究討論会に実施しました学会誌との連動企画「ロング原稿」をさらに発展させ、今回は学会誌「エアロゾル研究」の討論会論文特集号（34巻1号（2019年3月発刊））にて掲載いたします。そのため、審査及び校正を迅速に行うため、投稿を希望する方は以下を熟読してお申し込みください。

実施要項

- ・ 講演申し込み時に原稿種別 B. 学会誌論文特集号投稿原稿 を選択または明記してください。投稿は原著論文のみであり、研究論文、技術論文、レビューペーパー、研究速報、ノート、討論の6種類とし、いずれも他の学術的刊行物に公表されていないものに限りです。
- ・ 討論会の講演要旨は図表も含めて2ページ以上6ページ以内とします。書式は討論会の執筆要項に従ってください。なお、討論会での発表時間については通常原稿のものと変わりません。
- ・ 提出された講演要旨によりエディターによる一次審査を行います。6月18日（月）までに一次審査の可否を通知いたします。
- ・ 一次審査を通過した原稿は、7月13日（金）までに「エアロゾル研究」の投稿規定に従い、指定テンプレートを使用して論文原稿として投稿してください。投稿論文としての取り扱いには学会誌投稿規定に準拠します。なお、本原稿は単なる講演要旨ではなく、学術論文としての価値を持ちますので、十分に再考した論文原稿として投稿してください。また、原稿提出時には、投稿チェックシートと著作権譲渡書を同時に提出して頂きます。投稿に関する書類は学会ホームページ・エアロゾル研究・刊行物：<http://www.jaast.jp/kenkyu/index.shtml>よりダウンロードして下さい。
- ・ 「エアロゾル研究」の投稿規定に従い査読を行います。査読を経て採択されたものは学会誌の「研究討論会論文特集号」34巻1号（2019年3月発刊）に原著論文として掲載します。投稿本数が少ない場合には、通常の原著論文として掲載することがあります。
- ・ 特集号への掲載のため査読は迅速に行いますが、査読が特集号に間に合わない場合は、次号以降の一般論文として扱われます。

論文原稿の図のファイルサイズが大きすぎるためメールで提出できない場合は、別途ご相談下さい。なお、原稿での図の作成に際しては、学会誌に採択された場合、カラー図の掲載には規定の追加料金を支払って頂くことになる点にご留意下さい。また、オンラインジャーナルのJ-Stageのみカラーも可能ですので（この場合の追加料金は安価です。）、「エアロゾル研究」の投稿規定を熟読していただきご判断ください。

本学会員におかれましては、研究討論会の連動企画に対してご理解をいただくとともに、討論会の成果をエアロゾル研究に投稿していただくようお願い申し上げます。

学会誌編集委員長 並木則和

エアロゾル関連機器およびカタログ出展のお願い

第35回エアロゾル科学・技術研究討論会開催中（2018年7月31日～8月2日）に標記展示会を開催します。エアロゾル関連機器や書籍、標準物質等に関する情報を参加者へ伝える絶好の機会です。機器・カタログの出展の詳細につきましては、下記までご連絡ください。

【問合せ先】 第35回エアロゾル科学・技術研究討論会 実行委員長 長田和雄 E-mail: kosada@nagoya-u.jp

井伊谷賞とベストポスター賞について

【井伊谷賞】は、特別セッションでの優れた発表を対象とします。エアロゾルに関する萌芽的な研究、問題点の指摘、新しい分野の開拓、未来志向の夢のある話題など、学会の発展・活性化に寄与するものについて、遊びとゆとりの気持ちを持って発表してください。

○対象者と審査の力点、受賞者の表彰

特別セッションで**会員（個人会員・学生会員）**によって発表されたものに限り、発表内容だけでなく、制限時間（発表5分（厳守）、質問10分）内に、いかに聴衆にアピールしたかにも審査の力点が置かれます。受賞者には、懇親会にて賞状、および副賞（賞金10万円）が贈られます。

【ベストポスター賞】は、若手ポスター発表での優れた発表を対象とします。

○対象者と審査の力点、受賞者の表彰

発表者が本年4月1日現在で**35才以下の個人会員・学生会員**であり、かつ発表する研究・開発において中心的役割を果たしていることが必要です。研究・開発の完成度よりも、研究・開発内容を的確にポスターに表しているかどうか、ポスターの見やすさ・わかりやすさ、質疑への対応などの発表姿勢、今後の展開や可能性が期待されるかどうか、といった観点で評価します。受賞者には、懇親会にて賞状、および副賞（賞金3万円）が贈られます。

参加申込方法

【事前参加申込締切：2018年7月6日（金）】

参加申込は、**学会ホームページ**(<http://www.jaast.jp/home-j.shtml>)の参加申込フォームに必要事項を入力の上、送信してください。また、電子メール・ファックスによる申込は必要事項〔参加者名、連絡先(所属機関、住所、Tel、e-mail)、会員（個人、学生、法人）・共催・協賛団体会員・非会員（一般、学生）の種別、送金内容、送金合計、送金予定日、請求書の要・不要〕を下記へ送信ください。

<研究討論会参加費> 参加費には、講演要旨集USBが含まれています（講演要旨集USBは討論会受付で配布します）

		7月6日まで	開催当日	備考
参加費	学会員（個人会員・法人会員*）	6,000円	7,000円	*1社につき3名まで
	学会員（学生）	3,000円	4,000円	
	共催・協賛団体会員	8,000円	9,000円	
	非会員（一般）	15,000円	16,000円	
	非会員（学生）	6,000円	7,000円	学生証提示要
懇親会参加費	一般（非学生）	参加費 + 6,000円	参加費 + 7,000円	非会員も参加可
	学生	参加費 + 3,000円	参加費 + 3,500円	非会員も参加可
研究討論会要旨集データの前送希望		参加費 + 1,000円		
討論会には参加せず、研究討論会要旨集（電子媒体）のみ購入		学会員	5,000円	-
		非会員	10,000円	-

【参加費支払方法】

締切日までに、学会誌1号に同封の振込用紙の通信欄に印刷の送金内容にチェックを入れ、下記口座までお振込みください。郵便局備え付けの振込用紙（手数料送金者負担）をご利用の場合には、通信欄に必ず「討論会参加費、懇親会費、基礎講座受講料等」送金内容に相当するものを明記してください。銀行より振込の場合も、支払参加者の個人名がわかるようにお振込み下さい。締切日までに入金を確認できない場合、参加費は当日会場受付扱いとなります。入金後の払戻しは致しません。

郵便振替口座：00930-6-272815 口座名義：エアロゾル科学・技術研究討論会実行委員会
銀行から振込みの場合、ゆうちょ銀行口座：店番 099 当座 0272815

<事前参加申込-送金締切> 2018年7月6日(金)必着厳守（7月6日までに入金を確認できない場合は当日会場受付となります）

【参加登録(参加費等)に関する問合せ先】

日本エアロゾル学会事務局

E-mail: jaast@nacost.com, Tel: 075-415-3661, Fax: 075-415-3662

〒602-8048 京都市上京区下立売通小川東入ル西大路町146 中西印刷(株) 学会部内